

**言葉による見方・考え方を働かせ、
確かな資質・能力を身に付ける
国語科学習の創造（単元づくり編）**



小田小学校 村井 俊彦
荏田西小学校 小山 奈津子

単元名

1年生にもよく分かる、おもちゃ作りの せつめい書を書こう

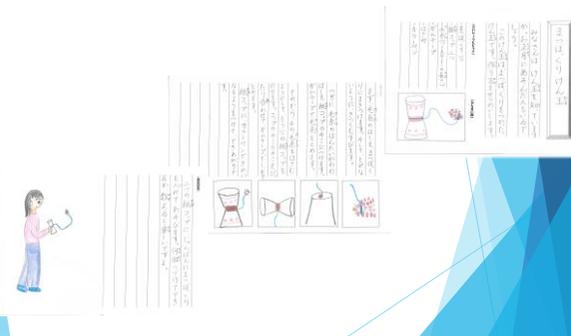


指導事項

- 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づく。（知（1）ア）「言葉の働き」
- 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思B（1）イ）「構成の検討」
- 語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思B（1）ウ）「考えの形成・記述」
- 間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすることができる。（思B（1）エ）「推敲」

単元の展開

- ①②わかりやすい説明書を書くための学習計画を立てる。
- ③～⑥教材を読み、説明の工夫を見つける。
（自分の選んだおもちゃを作る）
- ⑦自分の選んだおもちゃの作り方を説明する文章の構成と順序を考える。
- ⑧⑨選んだおもちゃの説明書を書く。
- ⑩⑪もっと分かりやすい文章になるように書き直しや書き足しをする。
（1年生に読んでもらい、おもちゃを作ってもらう）
- ⑫1年生から感想を聞き、学習を振り返る。



第2学年1年生にもよく分かるおもちゃ作りの説明書を書こう 言葉にこだわって理解したり、表現したり、味わったりしているイメージ					
書く	理解する姿		表現する姿	味わう姿	
学習目的	①言葉の意味や、働き、働き方について、自分の言葉で説明している姿	②相手や目的を考慮して、必要な情報はかみ、再構成や順序を整理している姿	③言葉の意味や働き、読み手によって、言葉を使い分けている姿	④自分の思いや考えを、丁寧な言葉で表現している姿	⑤相手の目的を考慮して、必要な言葉を工夫している姿
構成の検討			⑥相手の思いや考えを、丁寧な言葉で表現している姿	⑦相手の目的を考慮して、必要な言葉を工夫している姿	
考えの形成	⑧相手にやり方を説明する目的を明確にするための必要な情報を整理し、順序を工夫している姿		⑨相手の思いや考えを、丁寧な言葉で表現している姿	⑩相手の目的を考慮して、必要な言葉を工夫している姿	
記述			⑪相手の思いや考えを、丁寧な言葉で表現している姿	⑫相手の目的を考慮して、必要な言葉を工夫している姿	
イ 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。					

3) 言葉にこだわって理解したり、表現したり、味わったりしているイメージ



	表現する姿	味わう姿
目的	言葉の意味や用法、使用場面を捉え、表現している姿。	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。
内容	言葉の意味や用法、使用場面を捉え、表現している姿。	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。
形式	言葉の意味や用法、使用場面を捉え、表現している姿。	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。
考えの形成	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。
記述	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。

ウ 内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。

第2学年「1年生にもよく分かるおもち作りの説明書を書こう」言葉に:

	理解する姿
目的	言葉の意味や用法、使用場面を捉え、表現している姿。
内容	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。
形式	言葉の意味や用法、使用場面を捉え、表現している姿。
考えの形成	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。
記述	自分の思いや考えを、平易な言葉で表現している姿。

工 間違いを正したり、語と語や文と文の続き方を確かめたりすることができる。